

## ☆保護メガネを着用して作業ヤッテマスク？

人間は五つの感覚機能（視覚・聴覚・味覚・臭覚・触覚）を持っています。この中で「もし失って一番困るのはどれですか」と質問されたらあなたはどのように答えますか？？多くの人は「視覚です」と答えるそうです。視覚は、外部情報の約87%を占めるといわれる最も重要な感覚機能です。目を負傷し失明すると今の医学では視力を回復することは不可能であり、車の運転や歩行など今までと同じ生活をするのは難しくなります。ですから、目の負傷する恐れのある作業を行う場合は、必ず保護メガネを着用しましょう。

### 《よくある目の災害》

- ・コンクリート打ち込み時やバイブレーターを操作しているとき、モルタルが跳ねて目に入る
- ・コンクリート吹き付け中、モルタル等が跳ね返って目に入る
- ・濁水設備や地盤改良プラントで使用する稀硫酸や薬品等が目に入る
- ・ディスクグラインダなどで切削加工中、切粉が目に入る
- ・コンクリートの手はつり作業でコンクリートの破片等が跳ね返る
- ・切断作業中の鋼材の鉄粉が目に入る
- ・釘打ち機の釘が目刺さる
- ・下刈り中、小石等が飛んで顔に当たった
- ・熔融アスファルトが跳ね返り目に入り火傷する
- ・アーク溶接の紫外線により網膜を損傷する
- ・岩石の掘削箇所や強風下、粉じんや砂ぼこりが発生しやすい作業場所で目を痛める

### 《保護メガネの種類》

保護メガネには、作業用途・形状・危険源によって、1眼形・2眼形・ゴーグル形・しゃ光メガネ・防災面（顔全体を面で保護）や、眼鏡をしていても併用可能な保護メガネや防災面内蔵型ヘルメット（ヘルメット内部から面がスライドして収納可能）もあり、防災面内蔵型ヘルメットを標準装備として取り組んでいる前友会員会社もあります。

また、最近は曇り止めコートが技術が進歩しており、効果もかなり長く持続し傷付きにくくなっています。

### 《万が一目に異物が入ったときの措置》

- ・鉄粉、異物が突き刺さった ⇒目をこすらず、清潔な布で覆って病院に行く
  - ・モルタル、硫酸、薬品等 ⇒手をよく洗い、目をこすらず、流水でよく洗眼をして病院に行く
- 洗眼時の注意：洗面器があれば大量の水道水を入れた中で、目をパチパチとまばたきを繰り返す  
無いときは大きめのコップでもかまわないが、絶対に汚い手で目をこすらないこと

保護具は、あなたの**身体の一部**です。

作業開始前の点検を確実にし、作業終了時にはきれいに清掃整備して大切に保管しましょう。

熱中症の一つの対策として、朝礼前や作業中に顔色や体調の聞き取りをするとともに、昼休み後の作業開始前に顔色の確認と午前中に体調不良等がなかったかの聞き取り(昼一KY)をして作業を開始して下さい

所長メモ